5月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手　石原　恭

行った主な活動

摘果

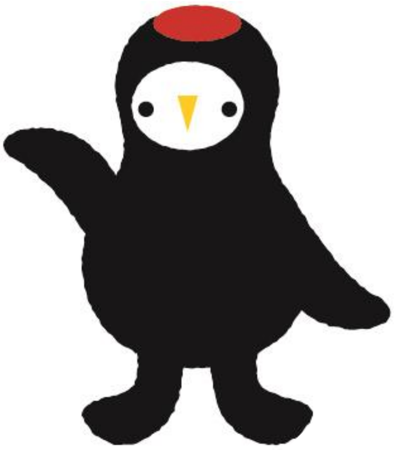
梨の摘果作業を行った。摘果は、複数ついている果実の中から形や大きさ、茎の状態などを確認し、今後の生育に適した実を残して不要な実を取り除く作業である。養分を残した果実に集中させることで、品質の良い梨を育てるための重要な工程であるため、一つひとつの果実を確認しながら丁寧に作業を進めた。

就農予定地の整備

来年就農予定の畑にて、草刈りと落ちている枝の回収作業を行った。草を放置すると伸びすぎてしまい、乗用の草刈機で刈ることが難しくなるため、定期的に行っている。

活動を行った感想など

摘果作業では、果実の形や大きさだけでなく、茎の太さや向きなども見ながら判断する必要があり、改めて観察力が求められる作業だと感じた。
1年目はどの実を残すべきか判断に迷うことが多く、作業に時間がかかっていたが、3年目となった今回は昨年までの経験を活かし、以前よりスムーズに判断できる場面が増えたと感じた。

今後の目標など

摘果作業は引き続き続くため、作業スピードだけでなく判断の精度も意識し、より良い実を残せるよう取り組んでいく。また、3年目としてこれまでの経験を活かしながら、より効率的かつ丁寧に作業を進めていく。